

令和4年度 広陵町教育委員会会議

○ 開会及び閉会

令和4年12月23日(金) 午後 4時30分開会
同日 午後 5時31分閉会

開催場所： 広陵中央公民館 2階 大会議室

○ 出席委員の議席番号、職名及び氏名

(教育長) 植村佳央、 1番委員：(教育長職務代理者) 松井秀史、
2番委員：奥田俊詞、 3番委員：岡野聡子、 4番委員：臼井有香

委員の他、会議に出席した者の職名及び氏名

教育委員会事務局教育振興部長	村井 篤史
教育総務課長	福田 順子
学校支援課長	池端 徳隆
生涯学習文化財課長	尾崎 充康
こども課長	佐々木 計也
スポーツ振興課長	坪水 裕子
図書館長	尾藤 肇子
教育総務課指導主事	濱田 健二
学校支援課指導主事	阪口 妙子

4 議案 (1) 後援名義使用許可申請について(令和4年度畿央大学大学院教育学研究科シンポジウム)

について)

○教育振興部長 案件のほう4番です。後援名義の使用承認に関しまして数件ございます。よろしく申し上げます。

○教育長 よろしく申し上げます。

○教育総務課指導主事 別紙になっております「令和4年度畿央大学大学院教育学研究科シンポジウム」についてという後援名義使用許可申請願いが畿央大学の大学院教育学研究科より出されております。目的ですが畿央大学大学院教育学研究科では、現代の教育課題の中から「生徒指導」「特別支援教育」「ICT」の3分野に焦点を当てて、現場の学校教員を初めとして教育に関わる社会人に教育実践力を養う教育課程の実施と教育課題の解決に向けての研究活動に取り組んでいます。今回は、研究活動の中から、「特別支援教育」の分野でシンポジウムを実施されるということです。テーマは、「「憐れみ」で終わらせない障害理解教育：何が社会的不利益を生み出すのかを考えるために」ということです。日時と場所ですが、令和5年3月11日、土曜日、13時から16時、オンライン開催(Zoomを利用)となっております。入場料は無料、対象者は教育関係者、参加予定人数は今のところ定員500名となっております。また、広陵町教育委員会といたしましては過去、令和3年度このシンポジウムの承認をしております。また、現代教育研究所の令和3年度の学びを結ぶオンラインセミナー、あるいは令和4年度の学びを結ぶオンラインセミナーも後援をしております。今回の後援申請は、ほかにも奈良県教育委員会、香芝市教育委員会、大和高田市教育委員会に申請されています。裏のページに2枚目にわたりまして開催概要、趣旨、予算、概算ですがその収支予算書がついており

ます。

以上です。ご審議よろしく申し上げます。

○教育長 ありがとうございます。今、説明がございましたが、令和4年度畿央大学の大学院教育学研究科のシンポジウムということで、特別支援教育についてのシンポジウムでございます。毎年この時期に畿央大学でシンポジウムをされていたと思います。これもこれまで後援の承認もしていたと思います。

委員B、何かつけ加えございませんか。よろしいでしょうか。

○委員B はい。ございません。

○教育長 このシンポジウムについては承認でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

4 議案 (1) 後援名義使用許可申請について(子育て世代応援プログラム～親と子の生き抜く力

の育成～について)

○教育長 続いて、「子育て世代応援プログラム～親と子の生き抜く力の育成～」、ご縁を結ぶ・子育てリボンのほうからの申請でございます。

○教育総務課指導主事 資料は、これも別紙となっております。一般社団法人ご縁を結ぶ・子育てリボンより後援名義使用承認申請書が出ております。事業名は「子育て世代応援プログラム～親と子の生き抜く力の育成～」ということです。日時ですが、令和5年2月12日、日曜日、会場はふるさと会館グリーンパレスになっております。参加対象は3歳から小学校6年生ぐらいまでのお子様とその保護者様ということです。事業目的は、生きていく上で必要な『お金の知識』を子供のうちから身につけ、親子で一緒に学ぶことで親と子のこれからの時代を生き抜く力を育成するという目的です。事業内容ですが、お店屋さんごっこの体験を通して、親子でお金についての知識を学ぶ体験型の社会貢献プログラムということで、参加費等は無料です。この事業につきましては、第1回、8月12日付でも申請があり、承認しております。令和4年10月29日、30日にエコール・マミで開催されて、報告書についても出していただいております。併せてご紹介させていただきます。以上です。ご審議よろしく申し上げます。

○教育長 ありがとうございます。これも前回もう承認をさせていただいています。実はですね、10月30日に実施しているところに行かせていただきました。エコール・マミで実施されたのですが、広陵町の子どもたちと、香芝市の子どもたち両方が親の引率で来ていて、参加のための抽選があり、広陵町の子どもたちは少なくなってしまうということで、広陵町だけを限定してもう一度、そのイベントをやりたいという話があって、再度2月12日にされることになったということです。前回も後援をさせていただいている状況がございます。どうでしょうか。

○委員D 8月に実際に行かれたのですか。

○教育長 私、その様子を見させてもらいました。すごく子どもたちは生き生きとしていました。親御さんと一緒に参加していました。お金の重さについての話では、1円玉を1,000個の重さと1,000円札1枚と、どっちが重いですか。1円玉、1000個ですね。額は同じなのですが、1円とって999円で1000円の物が買えるかと言ったら買えないでしょうね。この1円というのはすごく大事なのですよという話とか。そういう話を結構していただいていた。子どもたちにとっても、親御さんにとっても、そういう意味ではお金の大切さを子どもたちにあまり家庭では伝えていない状況があったので、それを伝えてもらってすごくよかったという感想を親御さんたちも持っておられました。よろしいでしょうか。

○委員D 少人数なのですか。

○教育長 そうです。今回も多分20組とか30組とか、やっぱりコロナの関係で。そんなにたくさんできない状況です。

○委員D 分かりました。いいと思います。

○教育長 では、承認ということでよろしいでしょうか。

4 議案 (1) 後援名義使用許可申請について(第29回奈良県夜間中学研究集会について)

○教育長 夜間中学のほうをお願いします。

○教育総務課指導主事 奈良県夜間中学連絡協議会より後援名義使用承認の依頼が来ておりまして、4枚ホッチキスでとめた資料があると思います。表紙にありますように目的ですが、2016年にできた義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の下に奈良県においても2021年に奈良県夜間において授業を行う中学校に関する基本方針が出されたということで、以前からも取り組んでおられましたが、夜間中学の教育の充実がさらに大きな課題となってきたということです。ただ、ここ3年間はコロナウイルスの感染のために研究集会の中止を余儀なくされてきました。今回今年度26回を迎えるに当たって規模を縮小した形で開催したいということで、さらなる夜間教育の充実を進めるために本研究会が開催されるという目的です。集会名は第29回奈良県夜間中学研究集会、開催場所は橿原市中央公民館です。開催日は2023年2月26日、日曜日、13時から15時30分です。開催内容としましては、全体会があり、その後講演、生徒の作文発表、分科会がありまして、研究主題に沿って討論・交流会となっております。参加対象者は奈良県夜間中学連絡協議会会員ということで、夜間中学生徒・職員、つくる会、つくり育てる会、約160名の方が参加予定ということです。参加費は1,000円、生徒以外は1,000円ということになっております。他の後援予定団体といたしまして、県教育委員会、奈良市・天理市・橿原市の各教育委員会及び奈良県内の市町村の各教育委員会となっております。そのほか今、つけてあります資料の中に開催要項、そして事業予算書、会則等をつけておりますので、ご参照ください。ご審議よろしく申し上げます。

○教育長 ありがとうございます。奈良県夜間中学の研究集会、これも毎年この時期にされております。これまでも毎回後援の申請があつて承認をしている状況かと思えます。これについて何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、第29回奈良県夜間中学研究集会の後援については承認とさせていただきます。ありがとうございます。

4 議案 (1) 後援名義使用許可申請について(「子どもの潜在能力を引き出す脳科学」講座につ

いて)

○教育長 それでは継続審議になっております「子どもの潜在能力を引き出す脳科学」講座についてよろしく申し上げます。

○教育総務課指導主事 継続審議ということで、前回出ました2つのご意見は、1つは会員の勧誘をしていないかということ。2つ目はほかの市町村の様子はどうかということでした。その後、会社に電話をして確かめたり、他の市町村の様子を調べました。まずは会社に電話したところ、会員の勧誘といったことはしておりませんという会社の返答でした。昨年度にもそういうことはなかったということなのですが、何分そのオンラインを見ておりませんが、勧誘はしていませんということのご返事でした。それから、2番目の奈良県では、本町を含めまして5の市町村の予定が書かれておりました。なぜこの5市町村なのかと聞いたところ、昨年応援していただいたところへ送っているという返事でした。ほかの市町村にも時期をずらしてパンフレットは出していますという返答でしたが、そこでその5市町村に後援名義の許可の様子について聞かせていただいたところ、大和郡山市と香芝市は今年も引き続き後援をするということです。それから、斑鳩町につきましては承認を今年はしないということでお聞きしました。理由は斑鳩町の教育方針に合わないという理由をです。それから宇陀市なのですが、ここも不承認ということです。1回目が無料だけど、その後引き続きどうなのかなということとか、不明瞭な点があるのでということと、町の施設を使うのなら後援名義を出す、ネット等のオンラインなので特にそこは出す必要がないのかなと思っておりますというような返答でした。前回出た2つの課題については今調べたとおりなのですが、個人的にちょっと気になったのでネット

で調べましたところ、この無料になったのは2020年度からで、コロナがちょうど始まった頃からこれは無料のオンライン配信になりました。それ以前は1,000円かかっていたようですが、それ以前にも承認されている全国の市町村の教育委員会もあったかとは思いますが。広陵町におきましては去年から承認しています。いろいろなネットを見ますと、どちらの立場に立っても書き込まれている方は多いので、もちろんすごく良かったと書かれている保護者の方もおられるし、最初見ているところに来たら切っただけとお金がかかったという方もおられます。詳しく見ますと講演は無料なのですが、紹介されたところにこの企業がやっておられますそういうプログラムの塾みたいなものがあります。あるいは保護者会はそこにつながっていくとまた別の意味でお金がいるのかも分かりません。一応この無料でオンラインは、そこで無料で入って後は保護者の方がそれを見てどう判断されるかということになってきます。そこも含めてご説明させていただきました。ご審議いただけたらなと思いますので、よろしくお願ひします。

○教育長 説明がありましたが、2つのことで調べていただいて報告を受けたわけですが、1つは5市町です。結局は大和郡山市と香芝市が承認した。そして斑鳩町と宇陀市は承認していない。広陵町はこのちょうど5つ目にどうしようということになるのですが、今の説明を聞いていただいて判断をしていただく必要があるのかなと思っています。ご意見いただけたらなと思いますので、どうかよろしくお願ひします。

○委員D すみません。個人的になのですが、他のオンラインということは個々のメールアドレスを登録して予定をもらうという行為が絶対行われると思うのです。その後、多分メールが入ってくるのだからという、そのトラブルまではいかななくても、それに対してその町の教育委員会が後援をする必要はあるのかなと、私は疑問には思います。むしろ1企業が自分の努力でやっておられるようなことに近いと思いますので、後援までする必要はないと私の個人的判断では思います。

○教育長 ありがとうございます。ほかどうでしょうか。委員A、どうですか。

○委員A そうですね。今、話を聞かせていただくと、あとのことを考えると今回ちょっと控えて様子を見ながら、これからもまた依頼があると思いますが、その状況を見ながら判断していくということではないのですか。

○教育長 ありがとうございます。委員B、どうですか。

○委員B 私も慎重のほうがいいかなと思います。

○教育長 ということで、委員の皆さんのご意見は、今回は様子を見るということで不承認ということで、また来年何らかの形で、そこをクリアしていただくかも分かりません。そういう意味では今回は不承認ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、これについては不承認とさせていただきます。ありがとうございました。